

開発・DX責任者の方へ

AI導入の判断を、 実装につなげる。

何を選び、何を確かめ、どこまで任せるか。
社内の実装・運用チームが次に進める
判断材料を整理します。

技術選定・設計レビュー | 支援案

山本 勇志

Web・フロントエンド開発 / 個人事業 ITProDX.com

FROM QUESTION TO NEXT STEP

01 判断の問い



02 選択肢と根拠



03 確認する条件



04 次の一手

比較・評価・レビューの流れ

判断が止まっている、その地点から。

社内に実装・運用担当がいて、選定や設計を整理したいチームとの相談を想定しています。

01

選ぶ前に

既存SaaSで足りるか。
n8nや個別開発が必要か。

目的・制約・運用負担を
同じ軸で比較したい。

02

本番へ進む前に

試作は動いた。
品質と費用をどう確かめるか。

進める条件と、追加検証・
見送りの条件を決めたい。

03

運用を任せる前に

失敗したら、誰が気づき、
どう復旧するか。

人の確認点、権限、
責任分担を整理したい。

最初の対象は、業務ひとつ・判断ひとつ。

比較・検証・レビューを、判断材料に。

理由と未確認事項を残し、社内の次の検証や実装へつなげる支援案です。

01 / 選ぶ

業務整理・技術選定

現状維持・既存SaaS・AI・
個別開発を比較します。

成果物案

選択肢の比較表
条件付きの判断メモ

必要な情報

業務の流れ・既存ツール
予算・データ・運用の制約

02 / 確かめる

PoC・評価計画

品質・費用・失敗時の動きを
確かめる条件を整理します。

成果物案

評価基準・検証計画
本番移行の条件と未検証事項

必要な情報

試作の構成・検証記録
代表的な入力と期待する出力

03 / 見直す

設計・運用レビュー

権限・失敗・再試行・
人の確認点を点検します。

成果物案

根拠と優先度付きの指摘
対応案・再検証項目

必要な情報

対象部分の仕様・コード
権限・費用・復旧の手順

成果物とレビュー対象は着手前に合意。実装・移行・保守・常時対応、専門監査・認証は含めず別途確認します。

次に何を確かめるかまで、残す。

問い合わせ返信の下書きは、どの方式で作るか。

サンプルの前提：送信前に担当者が確認。機密情報の扱いと利用条件は、検証前に別途確認。

選択肢	選ぶ条件	次に確かめること
定型文・現状維持	問い合わせの種類が少ない	例外の頻度・手作業の時間
既存SaaS	必要機能と利用条件が合う	データの扱い・承認機能・総費用
n8n+LLM	個別連携や分岐が必要	下書き品質・失敗・保守負担

条件付きの判断案
定型文と既存SaaSを基準に比較。個別連携が必要な場合に、n8n+LLMの限定検証を検討します。

残るリスク・次の検証：誤情報、根拠不足、確認・修正の時間、利用・保守費用を、架空データで確かめる。

成果物の形を示す架空サンプルです。比較実測、顧客での導入・効果を示すものではありません。

開発の経験から、判断を具体化する。



山本 勇志

Web・フロントエンド開発
10年以上

個人事業 ITProDX.com

医療系の業務画面・フォーム

Next.js / TypeScript

画面開発・UI/UX改善、
Retool・Redashでの可視化。

n8nによるワークフロー

n8n / Google Sheets

データ処理・投稿ロジック・
画像処理、例外と復旧手順。

公式サイト・更新用CMS

Next.js / Sanity

要件整理、設計・実装、
本番公開と運用への引継ぎ。

生成AIの導入前調査

Dify / ヒアリング

機能・制約・ユースケース、
構成案と懸念点の整理。

公開ポートフォリオで担当範囲を見る

上記は開発・導入前調査の担当経験です。本資料のITコンサルティング支援は提供案で、同サービスの提供実績はありません。

制作画面と公開資料で、担当を確かめる。

公開ポートフォリオに掲載したWeb制作画面です。AI導入成果の事例ではありません。



Webマニュアルサイト

Vue.js / VitePress / TypeScript

利用者が操作方法を探せる、
Webマニュアルサイトの構築。

公開サイトを確認

画面掲載元・担当の公開記録 (GitHub)



プログラミング教室サイト

React / TypeScript / Chakra UI

サイトの画面構築と、
レスポンス対応を担当。

設計・実装の記事を確認

掲載時の画面。IP公式サイト・CMS案件の画面ではありません。

原典・下書き・承認を分けて考える。

2do BRAIN | 個人開発・自社検証における、情報整理の設計例。



根拠へ戻れるか

原典と出典を確認する。

何が変わったか

下書きと反映を分ける。

誰が判断するか

更新前の確認点を決める。

架空データのデモを見る

別の個人検証：Agent Memory

図は設計例です。この資料作成時に全工程の現行動作を再検証したものではありません。
顧客文書による本番RAGの品質や、企業導入の効果を示すものではありません。

まず、業務ひとつ・判断ひとつ。

最初の有償レビューは、対象と成果物を絞って設計する案です。適合と継続課題を確認してから継続を検討します。



範囲と作業から、個別見積もり。

総稼働：準備・調査・会議・資料作成・連絡を含む。

定例の頻度：総稼働と分けて設定。

価格・開始日・受入可否・週1の条件：個別に確認。

責任と実行範囲を、着手前に合意。

実装・移行・保守・常時対応は別途合意。

導入・本番運用の最終判断は貴社の責任者が行い、

実装・運用の担当者と分担を決めます。

いま、何を 決めたいですか。

対象業務と、止まっている判断を教えてください。
対応できる範囲を確認し、
レビューの進め方をご提案します。

- 01 対象の業務
- 02 いま決めたいこと
- 03 社内の実装・運用体制

機密情報・実データ・認証情報を含めず、
概要だけでお知らせください。

技術選定・設計整理のご相談



contact@itprodx.com

リンク・QRから
メールの下書きを開けます。
送信前に内容を確認できます。

山本 勇志
運営・契約・請求：
個人事業 ITProDX.com